

## 「基金運用を通じた ESG 投資」を実施

～独立行政法人 都市再生機構(UR)が発行する「サステナビリティボンド」を購入しました～

直方市(直方市長 大塚 進弘)は、2030年までのSDGs達成の為に「基金運用を通じた ESG 投資」の一環として、2023年9月22日(金)に独立行政法人 都市再生機構(UR)が発行するサステナビリティボンドを購入いたしました。

【URL】[https://www.city.nogata.fukuoka.jp/shisei/\\_1236/\\_13302.html](https://www.city.nogata.fukuoka.jp/shisei/_1236/_13302.html)



### 実施内容

基金の運用を通じてSDGsの推進に貢献するため、2023年9月22日(金)、独立行政法人 都市再生機構(UR)が発行するサステナビリティボンド(※1)を購入しました。本市が同機構のサステナビリティボンドを購入するのは、今回が初めてとなります。

本債券の発行による調達資金は、同機構が実施する公園整備、植樹等によるCO2削減や下水道施設整備等を行う都市再生事業、新築賃貸住宅のZEH化等による省エネルギー性の向上、太陽光パネル設置による自然エネルギー利用等を行う賃貸住宅事業に充当されます。

(※1) 環境的課題及び社会的課題の双方の解決に資するプロジェクトの資金調達のために発行される債券のことであり、ESG(※2)投資の対象となります。

(※2) ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと。資金の用途によりグリーンボンド・ソーシャルボンド・サステナビリティボンド等に分かれます。

### 取組に至った背景

本市では地方自治法の趣旨を踏まえ、基金の一部を活用し、安全性の確保を第一に効率性も考慮した債券運用に取り組んでいます。また、本市は、令和4年5月に内閣府より「SDGs未来都市」に選定されるとともに、国連の持続可能な開発目標(SDGs)と同じく2030年を目標期限とする第6次直方市総合計画において『未来へつなぐ～ひと・まち・自然～』を都市将来像として掲げ、持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

その取組の一環として、環境改善や社会貢献に寄与する事業を資金用途とするESG債(グリーンボン

ド・ソーシャルボンド・サステナビリティボンド)への投資を行うことで持続可能な社会の形成に寄与し、社会的使命・役割を果たすとともに、購入の際には投資表明を行い、対外的に公表します。ESG 債の発行によって調達された資金は、事業への充当を通じて SDGs の達成に貢献するものとなっています。

## **独立行政法人 都市再生機構(UR)について**

### **【法人概要】**

法人名:独立行政法人 都市再生機構(UR)

所在地:〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町 6-50-1 横浜アイランドタワー

代表者:理事長 中島 正弘

設立:2004年(平成16年)7月1日

URL:<https://www.ur-net.go.jp/>

事業内容:都市再生・賃貸住宅・災害復興

### **【本リリースに関する報道お問い合わせ先】**

直方市 会計課 会計係 担当:武内

TEL:0949-25-2102

e-mail:n-kaikei@city.nogata.lg.jp